

# SSHだより

シリコンバレー アップルパーク (SSH海外派遣研修)

東京都立日比谷高等学校  
平成30年度 第4号

## ◎《全校生徒参加》SSH特別講演会 東京大学安田講堂にて

7月19日(木)、東京大学安田講堂にて全校生徒参加のSSH特別講演会を開催しました。講師は、株式会社富士通研究所名誉フェロー、国立情報学研究所名誉教授、米国ローレンスバークレー研究所客員研究員、高エネルギー加速器研究機構客員教授で、本校卒業生の三浦 謙一先生です。三浦先生は、現在アメリカのシリコンバレーに在住ですが、今回の講演のために来日していただきました。第一部として『私の歩んだ道 ～スーパーコンピュータ開発とシリコンバレー』と題して講演していただきました。スーパーコンピュータのノーベル賞と言われるシーモアクレイ賞を受賞された三浦先生は、スーパーコンピュータ開発の第一人者として、様々な仕事に携わってこられました。三浦先生が自分の人生で一番印象に残っていることは、野辺山の電波干渉計の仕事を自ら引き受け成功させたことだとお話しされました。それは、日比谷高校在学時代、科学研究会の部長として天文とアマチュア無線(エレクトロニクス)の二つのことに夢中になっていたことが後の人生に結びついたのだと説明されました。後半は、現在のシリコンバレーの状況を紹介していただき、日比谷生に是非、チャレンジ精神を持って世界に進出してほしいとの強いメッセージを送っていただきました。



第二部は、『グローバル社会への向き合い方』と題してパネルディスカッションを行いました。本校のSSH、東京グローバル10、姉妹校交流事業においてアメリカ、ニュージーランド、韓国を訪れた代表4名の生徒の参加のもと、三浦謙一先生を助言者として迎え、武内彰校長先生の司会のもと進められました。参加生徒達が、それぞれの体験をもとに、グローバル社会とは何か、どのように向き合っていくことが大切なのか等、いろいろと意見が出され、参加した全校生徒の各自が、今後の将来について考えることが出来た貴重な機会となりました。



## ◎ SSH生物 自衛隊中央病院見学

7月18日(水)午後、17名の生徒と引率2名で、三宿(池尻大橋より徒歩20分)にある陸上自衛隊三宿駐屯地にある中央病院を見学しました。目的は、大規模災害における対応です。実際、3.11東日本大震災の時も、仙台からヘリコプターにて救急搬送されています。数年前から地元の人々の診療も可能となり、東京都から感染症対応の救急指定病院(東京都では、墨東病院・荏原病院・駒込病院とこの自衛隊中央病院の4施設である)となりました。本校では2回目の訪問となりました。施設内での訓練の様子を説明していただき、充実した訪問になりました。大規模災害時での患者のトリアージと一次治療は大変重要であり、人間を模した生の生物試料をブタの臓器やモデル血液を含むシートを使い、治療の初期訓練を行っているとのこと。 (スライドによる説明)。本番でも、この生の感触が重要であり、応急処置を行いラップ(!!)をかけて、別の病院へ搬送することです。まさに、救命救急の医師の力を知ることになりました。病院の構造としても圧巻で、免震装置(ゴムとダンパー)が地下2階と地下1階に設置され、震度4なら、上は揺れない。屋上には大型ヘリ対応のポートがあります。また、救急搬送時における化学物質に対する除染設備もあります。資料館では、江戸時代末期から明治・大正・昭和への戦いの歴史が、日本の医学の基礎となり、順天堂・東京大学の医学部につながることも知ることができ、非常に意義深いものとなりました。



## ◎平成30年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会



8月7日(火)~9日(木)、文部科学省・日本科学技術振興機構主催の平成30年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が神戸国際展示場において開催されました。今年は、全国からすべてのSSH校及び経験校の208校、海外から11か国26校の高等学校で、計743名が参加しました。本校から3年生の3名が物理分野の研究発表を行いました。お互いに交流や意見交換等で、充実した二日間となりました。他県の先生からGOOD JOBを頂きました。

